



平成24年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年2月8日

上場会社名 株式会社 あじかん

上場取引所 東 大

コード番号 2907 URL <http://www.ahjikan.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 中谷 登

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 業務推進本部長 (氏名) 樋口 研治
兼 経営管理部長

TEL 082-277-7010

四半期報告書提出予定日 平成24年2月9日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第3四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	26,587	4.0	544	△32.2	456	△26.6	201	△27.3
23年3月期第3四半期	25,576	1.7	803	△20.0	622	△32.0	277	△44.6

(注) 包括利益 24年3月期第3四半期 144百万円 (—%) 23年3月期第3四半期 198百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第3四半期	26.47	—
23年3月期第3四半期	36.38	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第3四半期	17,945	8,586	47.8
23年3月期	16,069	8,533	53.1

(参考) 自己資本 24年3月期第3四半期 8,586百万円 23年3月期 8,533百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	0.00	—	12.00	12.00
24年3月期	—	0.00	—		
24年3月期(予想)				12.00	12.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	35,000	3.5	700	△30.6	600	△30.7	300	△21.0	39.42

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期3Q	7,700,000 株	23年3月期	7,700,000 株
② 期末自己株式数	24年3月期3Q	88,761 株	23年3月期	88,661 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期3Q	7,611,277 株	23年3月期3Q	7,616,642 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続を実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により予想数値と大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項は、[添付資料]3ページ「(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報等	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9
(6) その他の注記事項	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間（平成23年4月1日～平成23年12月31日）におけるわが国経済は、東日本大震災の影響による様々な問題から、一部において回復の兆しが見られたものの、欧州の財政不安や歴史的な超円高・株安などにより、依然として先行き不透明な状況が続いております。

食品業界におきましても、東日本大震災の影響で様々なイベントが一時的に自粛ムードとなるなど、個人消費も急激に落ち込んでおりましたが、その後、復興が進むにつれ一部においては緩やかながら回復の兆しも見られるようになりました。しかしながら雇用情勢の悪化懸念や個人所得の低迷による消費者の節約志向は継続しており、さらには、資源系・穀物系の価格上昇に伴う原材料や副材料・補助材料コストが企業収益を圧迫するなど、厳しい経営環境で推移いたしました。

このような状況の中、当社グループは第8次中期経営計画の最終年度をスタートさせ、変化の激しい時代を乗り切るため、第一に「ブランド価値の向上」、第二に「継続的な需要創造」、第三に需要創造の一環として中国を中心とした海外へも販売エリアを拡大させた「グローバル化」を目指し、さらなる「自社ブランド品の拡充」「営業基盤の強化」「社内サプライチェーン・マネジメントの確立」「コストダウンの推進」「あじかんブランド品質の向上」を重点施策として取り組んでおります。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は26,587百万円（前年同四半期比4.0%増加）となりましたが、経営を取り巻く環境は依然として厳しく、営業利益は544百万円（前年同四半期比32.2%減少）、これに為替差損などの時価評価を加えた経常利益は456百万円（前年同四半期比26.6%減少）となり、四半期純利益は201百万円（前年同四半期比27.3%減少）となりました。

なお、セグメント別では、営業部門におきましては、期首において東日本大震災の影響による消費者の一時的な自粛ムードや、一部顧客が休業状態となったことで、売上高に与える影響は若干ありましたが、厚焼玉子を中心とした玉子焼類や野菜加工品に加え、自社で企画・開発し国内外の協力工場で生産している自社企画ブランド品などの需要が増加し、売上高は前年同四半期を上回る結果となりました。一方、利益面につきましては、自社製造製品の原料高に加え、国内外からの仕入製商品価格上昇の影響が大きく、前年同四半期並みの結果となりました。

他方、生産部門におきましては、当社グループの主要原材料である鶏卵価格が東日本大震災後、主に需給の関係で一時的に高止まりしたことに加え、副材料・補助材料、ユーティリティ関連コストが大幅に上昇した結果、省エネ活動など全社的なコスト低減策に取り組んでまいりましたが製造原価率は上昇し、業績に大きな影響を与えました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ1,876百万円増加し17,945百万円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末に比べ2,055百万円増加し10,516百万円となりました。主な増減要因は、繁忙期の売上高増加、連結会計期間末銀行休業日の影響による受取手形及び売掛金の増加2,093百万円、販売政策に伴う商品及び製品の増加388百万円、原材料の備蓄に伴う原材料及び貯蔵品の増加173百万円、現金及び預金の減少552百万円などです。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ179百万円減少し7,429百万円となりました。主な減少要因は、投資を上回る有形・無形固定資産の減価償却の進行や、投資有価証券の時価評価などです。

(負債)

負債合計は、前連結会計年度末に比べ1,823百万円増加し9,359百万円となりました。

流動負債は、前連結会計年度末に比べ1,538百万円増加し8,198百万円となりました。主な増減要因は、仕入の増加や連結会計期間末銀行休業日の影響による支払手形及び買掛金の増加1,299百万円、一時的な運転資金を目的とした短期借入金の増加295百万円、未払法人税等の減少97百万円、賞与引当金の減少109百万円などです。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ284百万円増加し1,161百万円となりました。主な増減要因は、長期的な運転資金を目的とした長期借入金の増加280百万円、リース資産取得に伴うリース債務の増加20百万円、退職給付引当金の減少25百万円などです。

なお、当第3四半期連結会計期間末の借入金残高は、前連結会計年度末に比べ576百万円増加し3,412百万円となっております。

(純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ53百万円増加し8,586百万円となりました。主な増減要因は、四半期純利益の計上201百万円、剰余金の配当による減少91百万円などです。

この結果、自己資本比率は、前連結会計年度末に比べ5.3ポイント減少し47.8%となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年3月期通期の業績予想につきましては、平成23年11月1日に公表いたしました業績予想に変更はございません。

2. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,763,620	1,211,590
受取手形及び売掛金	4,035,394	6,128,678
商品及び製品	1,768,932	2,156,987
仕掛品	8,110	1,922
原材料及び貯蔵品	635,891	808,969
繰延税金資産	126,127	68,805
その他	151,980	159,772
貸倒引当金	△29,519	△20,488
流動資産合計	8,460,537	10,516,238
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,711,091	1,625,385
機械装置及び運搬具（純額）	929,102	932,805
土地	2,957,295	2,957,295
リース資産（純額）	24,151	54,596
その他（純額）	201,845	199,489
有形固定資産合計	5,823,486	5,769,573
無形固定資産		
リース資産	27,229	61,908
ソフトウェア	289,791	171,921
その他	25,202	24,439
無形固定資産合計	342,224	258,268
投資その他の資産		
投資有価証券	518,793	470,048
繰延税金資産	93,691	90,404
その他	854,741	862,853
貸倒引当金	△23,997	△21,472
投資その他の資産合計	1,443,228	1,401,832
固定資産合計	7,608,939	7,429,675
資産合計	16,069,476	17,945,914

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,594,446	3,893,612
短期借入金	2,564,800	2,860,700
未払法人税等	113,132	15,357
賞与引当金	264,000	155,000
役員賞与引当金	25,732	20,602
リース債務	97,349	85,371
その他	1,000,647	1,167,761
流動負債合計	6,660,107	8,198,405
固定負債		
長期借入金	271,200	552,100
退職給付引当金	128,161	102,458
役員退職慰労引当金	292,710	302,633
資産除去債務	42,159	40,935
リース債務	141,967	162,895
固定負債合計	876,199	1,161,023
負債合計	7,536,307	9,359,428
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,102,250	1,102,250
資本剰余金	1,098,990	1,098,990
利益剰余金	6,507,002	6,617,133
自己株式	△64,057	△64,136
株主資本合計	8,644,184	8,754,237
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	23,480	△12,256
為替換算調整勘定	△134,495	△155,495
その他の包括利益累計額合計	△111,014	△167,751
純資産合計	8,533,169	8,586,485
負債純資産合計	16,069,476	17,945,914

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)
売上高	25,576,414	26,587,580
売上原価	19,266,713	20,351,155
売上総利益	6,309,700	6,236,425
販売費及び一般管理費	5,506,232	5,691,673
営業利益	803,468	544,751
営業外収益		
受取利息	1,486	1,575
受取配当金	8,664	8,251
通貨スワップ評価益	—	24,199
持分法による投資利益	10,664	8,699
その他	9,476	10,463
営業外収益合計	30,291	53,189
営業外費用		
支払利息	30,499	24,951
為替差損	49,093	83,490
通貨スワップ評価損	44,123	—
長期為替予約評価損	85,334	29,641
その他	2,622	3,002
営業外費用合計	211,673	141,085
経常利益	622,085	456,855
特別損失		
固定資産除却損	4,108	2,842
投資有価証券売却損	107	—
投資有価証券評価損	12,045	3,550
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	31,937	—
和解金	27,500	—
特別損失合計	75,699	6,392
税金等調整前四半期純利益	546,386	450,463
法人税、住民税及び事業税	197,679	168,794
法人税等調整額	71,580	80,201
法人税等合計	269,260	248,995
少数株主損益調整前四半期純利益	277,125	201,467
四半期純利益	277,125	201,467

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	277,125	201,467
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	△15,351	△35,736
為替換算調整勘定	△55,590	△15,436
持分法適用会社に対する持分相当額	△7,767	△5,563
その他の包括利益合計	△78,709	△56,737
四半期包括利益	198,416	144,730
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	198,416	144,730

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

(セグメント情報)

I 前第3四半期連結累計期間（自平成22年4月1日 至平成22年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	営業部門	生産部門			
売上高					
(1) 外部顧客への売上高	25,577,683	—	25,577,683	△1,269	25,576,414
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	1,319	6,868,361	6,869,680	△6,869,680	—
計	25,579,002	6,868,361	32,447,363	△6,870,949	25,576,414
セグメント利益	1,930,386	314,337	2,244,723	△1,441,255	803,468

(注) 1. セグメント利益の調整額△1,441,255千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,443,889千円及びたな卸資産の調整額△6千円が含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間（自平成23年4月1日 至平成23年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	営業部門	生産部門			
売上高					
(1) 外部顧客への売上高	26,587,580	—	26,587,580	—	26,587,580
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	2,300	7,297,487	7,299,787	△7,299,787	—
計	26,589,880	7,297,487	33,887,367	△7,299,787	26,587,580
セグメント利益	1,953,442	195,068	2,148,510	△1,603,759	544,751

(注) 1. セグメント利益の調整額△1,603,759千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,577,283千円及びたな卸資産の調整額△23,430千円が含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) その他の注記事項

(四半期連結貸借対照表関係)

四半期連結会計期間末日満期手形

四半期連結会計期間末日満期手形の会計処理については、手形交換日をもって決済処理をしております。なお、当四半期連結会計期間末日が金融機関の休日であったため、次の四半期連結会計期間末日満期手形が四半期連結会計期間末日残高に含まれております。

受取手形	8,722千円
支払手形	259,826

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)
減価償却費	480,328千円	497,388千円